



# 水稻編

病害虫注意報 2019年9月号

inochio  
GROUP

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

## 刈り取り後の除草

刈り取り跡に雑草が生えている田んぼは、今しっかり防除を行うことで次作が楽になります！



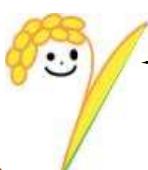
薬剤名	特徴	使用方法	おすすめ
次作までに時間がある場合 <b>クロレートS</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適用：一年生雑草 多年生イネ科雑草</li> <li>・稻わらの上からでも効く</li> <li>・水が溜まっている所では効果半減</li> <li>・次作植付まで3ヶ月程度期間をあける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 杖ダカ 30~40kg (6~8袋)/10a</li> <li>● 一年生雑草・多年生イネ科雑草 20~25kg (4~5袋)/10a</li> <li>水稻刈取後全面土壤散布 (秋期雑草生育期)</li> <li>※回数制限なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・杖ダカ防除には刈取後すぐの散布が効果的！</li> <li>・散布は年内に</li> <li>・降雨時（降雨が予想される時）は散布しない（効果の减弱、河川への流出を防ぐ）</li> </ul>
次作までに時間がない場合 <b>ラウンドアップ<sup>®</sup>マックスロード</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適用：一年生雑草・多年生雑草</li> <li>・ヒエ、セリ、クロゲワイ、杖ダカ、カヤツリグサなどの防除困難な雑草に！</li> <li>・土に残らず分解が早い</li> </ul>	<p>薬剤 500~1000ml/10a (希釈量10aあたり 通常50~100ℓ、少量25~50ℓ)</p> <p>雑草生育期 (水田刈跡/1回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雑草が緑化している時期に散布</li> <li>・刈取直後 薬剤 500~1000ml、もしくは、3~4月の水田耕起前 薬剤 200~500mlがおすすめ</li> </ul>

## 刈取後のジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）防除

- 湛水状態3~4cmを1~4日続ける（水温15°C以上）。
- ジャンボタニシが活動を始めたら、粒状ペルカ（石灰窒素）20~30kg/10aを散布する。
- 3~4日湛水状態で放置してから自然落水する。



※石灰窒素は河川などに流出、飛散しないよう注意して下さい。



1月上旬~2月上旬に耕起すると、貝が潰れることでの物理的な殺貝効果だけでなく、残った貝も寒気に曝されることで死滅します。冬場の耕起は1回だけでなく複数回おこなうと殺貝効果さらにアップします↑↑

稻ワラの腐熟剤 分解を早め、浮きワラ軽減・ガス害防止に！

**粒状ペルカ（石灰窒素）20kg(1袋)/10a**

★刈取後、すき込むことにより、稻わらを土中で堆肥化することが可能！  
堆肥同等の貴重な地力栄養資源として活用できます★